

CORAL REEF



CONTENTS—

- ★フラダンスに
夢乗せて
- ★コラリウムって
どんな場所？
- ★午後の撮影会
- ★新職員紹介

Vol.10



CORAL REEF Vol.10

発行元 社会福祉法人ラフト コーラル

〒274-0065 千葉県船橋市高根台 6-27-10

TEL/FAX 047-401-6460

編集人 土屋 滋朗

2024年9月30日 発行

フラダンスに夢乗せて

コーラル副施設長 山本多佳子

コーラルはこの夏、従たる事業所「コラリウム」を開設いたしました！

…というわけで、8月7日に開所イベントとしまして高根台にて活動されております、フラアカハさんをお招きしてフラダンスショーを開催いたしました。

コーラルからほど近い高根木戸東町会館は、コーラルメンバー、保護者様方ですっかり満員御礼となった中、理事長の挨拶…と思いきや？元気いっぱいの大竹さんの挨拶での幕開けです。慣れない環境でちょっと緊張気味の方、笑顔で鑑賞される方、音楽に合わせて一緒に体を動かしたり、絶妙なタイミングで合いの手を入れて盛り上げてくれたり、皆さん思い思いに鑑賞されていました。

コーラルとしては会館を貸し切り、ゲストをお招きしてのイベントは初めてであり、職員たちの段取りや進行に不手際もありましたが、皆様に楽しんでいただけていたらうれしい限りです。

そしてこの開所イベントの舞台を飾ったのは、コーラルメンバーたちがみんなで描いた作品3枚です。大きな布に特製の長い絵筆、ローラー等を自由に走らせ、絵の具を塗っていきます。まっさらな布に初めに水色の絵の具を塗り始めた時はどこからか「プール掃除？」といった声が聞こえてきて…さてさてどんな作品になるのかと思いきや、普段は絵を描くことに消極的な方も気づけば特製絵筆でそれぞれの表現をされているのでした。舞台に吊り下げた作品3枚は、フラアカハさんの飾って下さったハワイの首飾り、レイとモンステラの大きな葉と見事にマッチして素敵でした。



実はこのフラアカハさん、5月のとある日曜日、コーラルが高根木戸マルシェに出店した際にゲストとしてショーを開催されていたのですが、その時にショーを鑑賞していた私は、フラアカハさんメンバーの優しい笑顔、踊りの一つひとつの振りに、“何か目には見えない大切なもの”を表現されているように感じ、すっかり魅了されたのでした。

事業所としての変化や拡大が続く中、コーラルとしても、こんな思いを大切にしていけたら…そしてコーラルメンバーや保護者様、職員たちにも届けられたら…と妄想してしまっていたのでした。フラアカハさんに出演依頼を申し出ると快く受けて下さり、今回のイベントを実現することができ、本当に感謝しております。

また、開所イベントの前に保護者様を対象としまして「コラリウム見学会」も開催いたしました。まだ、新しく、がらんとしたコラリウムでしたが保護者の皆様がお集まりくださり、普段なかなかお話できる機会もない中、保護者様同士で交流されたり、また直接いろいろご意見を聞くことができたりと、こちらも貴重な楽しい時間となりました。

お忙しい中、皆様お越し下さり、ありがとうございました。



新職員紹介

うえのさん
上埜

2024年5月から入職しました上埜由紀子と申します。

上埜と書いてウエノと読みます。コーラルには以前、娘が非常勤でお世話になっていましたので、この名字に見覚えのある方もいらっしゃるかもしれません。

私がコーラルを知ったのは4年前。それは娘のアルバイト先でした。理学療法士の学校に入学が決まった娘が、以前から興味があった福祉関係のアルバイトを探していました。その時ご縁があったのがコーラルです。娘がコーラルでお仕事させていただくようになり、その流れで私もInstagramやコーラルリーフを拝見するようになりました。利用者の方々の楽しそうな雰囲気や「お母さんも行きたいな〜」とよく話していました。そして娘は学業に専念するためにコーラルを退職し…その8か月後、姿を変えて(母親です!)再び上埜が職員としてお世話になることとなりました。「行きたいな〜」が現実となったわけです。ありがたや、ありがたや。



Illustration by クザン・ワコ

こうして始まったコーラルでの日々。私の福祉の経験は高校時代のJRC部(ボランティア活動の部)での毎月の老人ホーム訪問くらいで、支援の仕事は未経験です。わからないことばかりで毎日が驚きとズッコケと反省の連続です(先輩職員のみなさんにいつも助けてもらってます)。

そんな私の楽しみは、コーラルにいらっしゃるみなさんとのコミュニケーションです。みなさんそれぞれの世界があります。コミュニケーション方法も様々です。その方に合ったコミュニケーションを模索中です。みなさんの世界のお邪魔にならないスマートな支援ができればいいなあと思っています。利用者の皆様に心のびのび過ごしていただけるように頑張ります。

そして、コーラルに行こうかな♪ルンルン♪て(たまにでもいいから)思ってもらえたら最高ですね。これからよろしく願っています。

- ♪短大で漆工芸を専攻していました。みなさんのアート活動のお手伝いできたらとおもいます。
- ♪好きな食べ物はスパイスカレー。学生時代はインドカレーのお店でアルバイトしていました。
- ♪趣味は歌うこと。ゴスペル(コーラス)サークルに入ってます。映画天使にラブソングをのあれです。前回のライブではラップ担当しました。
- ♪日本語以外の言葉で話してみたい願望がありまして、とりあえずNHKラジオ英会話を聞いています。8年経過していますがやはり聞くだけでは話せるようにはならないみたいです。

一人で機織りや刺繍をもくもくと取り組むことも、仲間達に混ざって絵を描くことも大好きな大竹さん。何気ない日も、大竹さんのたくさんの笑顔で、なんだか良い日だったなと思ってしまうのです。

OTAKE MINAMI
大竹美波

できましたー!

コーラルメンバー達の Episode 02 午後の撮影会

「大丸さん撮ってくださいーい。」
14:45頃、室内活動の時間が終わると、大竹さんが刺繍をした布を持って声を掛けてくれた。「はい。じゃあ撮りますね。」と、私は携帯をとりだし、撮影の構えをとる。
すると大竹さんは1メートルくらい長さのある刺繍された布を、自分の体の前に広げた。「はい、チーズ!」と私は一枚目を撮った。立ったままだと上手く画面に収まらなかった。

私は画面の中に大竹さんと作品を収めようと、携帯を持ったまましゃがんでみた。しかし、しゃがんでいるはずなのに画面の映像が変わらない。
すると近くで見ていた土屋さんが「大竹さんも下がって行ってますね、。」と呟いた。
よく見ると、私がしゃがんでいくのに合わせて、大竹さんも布を持ちながらしゃがんでくださったのであった。

しゃしんとってくださいーい!



コラリウムってどんな場所？

令和6年8月にオープンした、コーラルの従たる事業所「コラリウム」。

聞きなれない言葉ですが、ラテン語で珊瑚を意味する corallium という単語から命名しました。リズムカルで可愛らしい響きを面白がっていただけたら幸いです。

さてさて、コラリウムはどんな場所かと言いますと、ひとことで表すなら、

「創作活動に集中して向き合える場所」

コーラルにいますと、ついつい賑やかなムードに押されて活動に身が入らなったり、のんびり過ごしたくなってしまったり…。でも、環境さえ整えば、集中力を発揮できる方がたくさんいます。そんな方たちのために、部屋数を多めに設定し、部屋ごとに活動内容を分け、画材や作業道具を揃えました。

ここに来ると、普段の姿とはちょっと違った、みなさんの真剣な表情が見られるかもしれません(!?)。今のところ、利用者さんは固定化せず、メンバーが日替わりでコラリウムへ出かけて行っています。今日はこんなものを作ってきました！と共有される作品や写真からは、コーラルでは見せたことのない新たな一面を窺い知ることにも。

とはいえ、まだ始まったばかりの事業所です。みんなで試行錯誤しながら、コラリウムという場所に本当の意味での命を吹き込んでいけたら良いなあと思っています。そしてまた、ここがみなさんにとっての、新たな居場所のひとつとなってもらえたら！

What kind of place is Corallium?

